



60th
ABC Anniversary

朝日放送株式会社

証券コード：9405

第 85 期 中間事業のご報告

平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日

株主の皆様方におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年は3月11日に東日本大震災が発生し、東北地方に甚大な被害をもたらしました。また9月上旬に日本列島に上陸した台風12号によって、当社の放送エリアである和歌山県、奈良県でも大きな被害が出ました。被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。

当社では両災害の発生直後から、テレビ・ラジオを通じて多角的な報道に取り組むとともに、被災地への物的支援、義援金・支援金の呼びかけといった活動にも全力をあげてきました。今後も引き続き、復興支援に協力してまいりたいと考えています。

さて、朝日放送グループの第85期中間期(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)の連結業績は、前年同期を上回る結果となりました。震災の影響で4月、5月のテレビのスポット収入が大きく落ち込みましたが、6月以降は、前

年を上回る水準にまで回復しました。下半期の売上げについては景気動向など先行き不透明な部分もありますが、通期での増収増益に向けて、現在全グループ社員一丸となって努力しているところです。

当社は今年、創立60周年を迎えました。そんな節目の年、55年間続いた当社の地上波テレビのアナログ放送は7月24日をもって終了し、完全デジタル化が完了しました。これによって、テレビは新しいメディアに生まれ変わったことになります。今後は番組力を一層強化することによって、当社のブランド価値を高め、デジタル時代における新たな放送外収益の拡大を図っていく所存です。合わせて財務体質の改善にも取り組み、グループの総合力を高めていきたいと考えています。

株主の皆様方におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成23年12月

代表取締役社長

脇阪聡史



代表取締役社長

脇阪聡史

朝日放送信条

- 一、平和と自由の精神を貫き、地域社会と文化の向上につくす。
- 一、進歩と寛容の理念により、品位と責任を重んじ、社会の信頼にこたえる。
- 一、報道と評論は常に中正な立場に立つて、真実を正しく敏速に伝える。
- 一、番組は良識と知性を高めつつ、楽しさとやすらぎを与える。
- 一、広告は誇張を排し、清新な創意によって産業の発展を期する。

正しい報道

Accurate information

美しい表現

Beautiful expression

楽しい番組

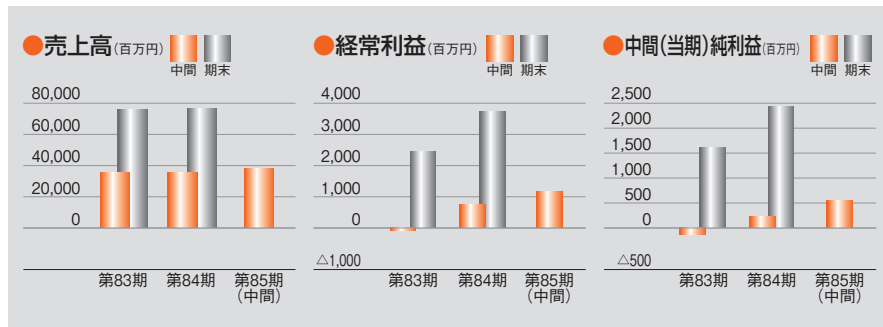
Cheerful programs

●第85期中間期連結業績

売上高 379億3千万円

経常利益 11億6千9百万円

中間純利益 5億5千9百万円



当中間期における当社グループの売上高は379億3千万円となり、2億2千万円(0.6%)の増収となりました。

一方、費用面では、売上原価は2億5千万円(1.0%)増加したものの、主に放送事業を中心にコスト削減を進めた結果、販売費及び一般管理費については3億9千8百万円(△3.5%)の減少となりました。

以上の結果、経常利益は11億6千9百万円で4億3千万円(58.3%)の増益に、中間純利益は5億5千9百万円で、3億3千万円(144.6%)の増益となりました。(全て比較は前年同期比)

3

セグメント

●セグメント別 売上高

放送事業 331億9千3百万円

ハウジング事業 43億9百万円

ゴルフ事業 4億2千6百万円

放送事業 ●

売上高は前年同期に比べ1千7百万円(0.1%)の増収となりました。

震災の影響で、主力のテレビスポット収入が期間当初に前年同期を下回り、その後持ち直したものの、累計では減収(△2.7%)となりました。また、催事関係では原発事故の影響で海外からの出演者が来日できなくなるなどして、いくつかのイベントが中止となりました。

一方で、テレビタイム収入やラジオ放送事業収入は増収となり、子会社の業績改善も奏功して、増収となりました。

ハウジング事業 ●

売上高は、前年同期に比べ2億1千1百万円(5.2%)の増収となりました。ハウジング事業においては、震災の影響が軽微に留まり、主力事業の住宅展示場運営において空区画への新規出展誘致などが功を奏したため、増収となりました。

ゴルフ事業 ●

ゴルフ事業においては、震災による自粛ムードや台風によるクローズにより来客数が減少しました。

このため、売上高は前年同期に比べ7百万円(△1.8%)の減収となりました。

一方で、コストの見直しなどを図り、営業費用をおさえ収支は改善しました。

4



●プライム帯、プライム2帯で 2冠を獲得。

朝・午後11時台のABC制作ベルト番組や、プライム帯(午後7時～11時)のABC発ネット3番組など自社制作番組の強化を継続し、当上半期も安定した支持を得ております。当上半期の視聴率は、プライム、プライム2の2部門で1位となり、2冠を獲得しました。一方、全日は1位に0.3ポイント差で2位、ゴールデンは3位となりました。

プライム帯では、火曜午後8時の「みんなの家庭の医学」は、当上半期の平均視聴率で11.5%と二桁をキープし、特に7月クールは上昇基調になっております。10月からは、喜多ゆかりアナウンサーが、スタジオの情報をまとめるアシスタントとして出演し、さらに分かりやすく役に立つ健康情報エンターテインメントとして強力に発信しています。

日曜午後8時の「大改造!! 劇的ビフォーアフターSEASONII」は、芸能人の実家リフォームや2週連続企画を積極的に取り入れるなど新機軸も打ち出しており、引き続き好調です。秋のスペシャルでは、番組ならではの狭小物件を取り上げ、13.0%の高視聴率を獲得しました。



●「たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学」

毎週火曜 午後8時～8時54分放送

今年4月に、5年ぶりにバラエティーに改編した金曜午後9時枠の「Oh!どや顔サミット」。昨年の新語・流行語大賞にもノミネートされた「どや顔」をキーワードに据えた、新しい世界観のバラエティー番組です。上半期の平均視聴率は10.8%でした。今後は、この時間帯のメインターゲット層をしっかりと捉える情報を入れながら、バラエティー番組の魅力的な構成で、さらに安定した高視聴率獲得を目指してまいります。



●「Oh!どや顔サミット」毎週金曜 午後9時～9時54分放送

また、プライム帯では、この3番組のほかに、土曜午後9時からの2時間サスペンスドラマ「土曜ワイド劇場」を月1回の割合で当社が制作しています。上半期の当社制作分の平均視聴率は、14.7%と高い人気を維持しており、引き続き高いクオリティを保ちながら、より高い支持を得る作品を送り出していきよう、努めています。



●「土曜ワイド劇場 温泉秘大作戦⑩」2011年8月放送

プライム2帯(午後11時～午前1時)では、月曜日から木曜日午後11時台のローカルベルト番組、「ナイトinナイト」の上半期平均視聴率が10.9%、金曜日の「探偵!ナイトスクープ」が18.5%と、いずれも堅調に推移し、プライム2の2003年上期以降連続首位に貢献しています。



●「ごきげん!ブランニュ」 毎週月曜 午後11時17分放送

7月18日(月・祝)には、朝の情報番組「おはよう朝日です」と「おはよう朝日土曜日です」が被災地・東北へエールを送る4時間生放送の特別番組を放送しました。「おは朝」メンバーによる様々な形の「元気」のプレゼントや、東日本放送・福島放送のアナウンサーによる名産品お取り寄せのご紹介、番組が植村花菜さんとともに作り上げた東北応援ソングなど盛りだくさんの内容でした。福島と宮城エリアでも生放送し、16年前の阪神淡路大震災を経験し復興を遂げた関西から東北へ向けて「笑顔」と「元気」を発信しました。



●7/18放送「関西から届けよう!笑顔と元気 夏だ!おは朝!!元気スペシャル」



2011年10月編成

10月編成では、局の顔とも言える夕方帯ニュースを改編、しっかり強化すると共に、朝の情報番組もさらに上昇気流に乗せて、下半期は全日帯のトップを狙っていきます。



●「キャスト」 毎週月～金曜 午後4時50分放送

まず、夕方帯ニュースは、新番組「キャスト」がスタートしました。司会は長年ABCのスポーツ中継の顔として親しまれ、ラジオパーソナリティーとしても定評のあるベテラン・伊藤史隆アナウンサー。さらにサブキャスターとして、好調「おはようコール」の司会として活躍してきた高橋大作アナウンサーと、フレッシュな2年目・塚本麻里衣アナウンサーも加わり、幅広いターゲットをがっちり捉えます。

またコメンテーター陣も強化し、前宮崎県知事・東国原英夫氏や経済アナリスト・森永卓郎氏、元経済産業省官僚・古賀茂明氏、IT社会、環境問題、地方自治など多岐にわたる分野に精通している東京大学名誉教授・月尾嘉男氏ほか、各ジャンルの専門家を迎え、納得できるまで考え、語る、新しいニュース番組をお送りします。

そして、高橋アナウンサーの夕方帯ニュース復帰に伴い、10月から朝の情報番組「おはようコール」には、「朝だ!生です旅サラダ」などでおなじみ、3年目の成長株・横山太一アナウンサーが登場。引き続き出演する乾麻梨子アナウンサーと共に、元気な20代コンビが、朝の顔として発信してまいります。



●「おはようコールABC」 毎週月～金曜 午前5時放送



●全日・平日平均 平日ゴールデンで首位!

ABCラジオは一昨年、昨年と大幅な改編を行い、今春からは改編後の平日ワイド番組の強化に努めてきました。

今年4月度聴取率調査での聴取率は、全日平均、平日平均、平日ゴールデンタイムと、すべてで単独首位となりました。平日ワイド番組も全体にアップし、番組強化の成果が現れた結果となっています。続く6月度調査でも全日平均、平日平均、平日ゴールデンタイムすべて首位の座を保っています。

ABCラジオの看板番組である「おはようパーソナリティ道上洋三です」では、4月に12年ぶりに新アシスタントが誕生しました。一般公募には1844通の応募があり、その中から選ばれたのは20歳の現役女子大生の久野愛さん。Qちゃんの愛称で番組に爽やかな新風を吹き込んでくれています。

午後3時から放送の「武田和歌子のぴたっと。」では、産休を終え二児の母となりパワーアップした武田アナウンサーが番組に復帰。井之上チャルさんとの息の合ったコンビで装いもあらたにお送りしています。



● 毎週月～金曜 午前6時半放送

また、昨年12月に本格始動したIPサイマルラジオ (radiko) の普及に繋げるため、4月から「NMB48学園～教えて千鳥先生」を編成しました。関西の人気アイドル、NMB48がお笑いコンビ、千鳥を相手に、仮想の学園で様々な授業や課題に挑戦するという内容で、あらたなパソコン、モバイルユーザーのリスナーにも好評を得ています。



● 毎週土曜 午後10時放送

4月29日(金・祝)には、「ドッキリ!ハッキリ!三代澤康司です」、「兵動大樹のほわ～っとエエ感じ。」、「武田和歌子のぴたっと。」と3番組を通してABCのリバーデッキからの公開生放送を実施しました。晴天の中、堂島リバーフォーラムで行われた東日本大震災チャリティーのフリーマーケットにもABCラジオのブースを出すなどし、1万人に及ぶ集客がありました。



今年3月に発売したABC創立60周年記念CDブック「いつもラジオと一緒に」は、ABCラジオの昔と今がわかるオールカラーの本と、ABCラジオの新テーマソングや懐かしい音源がたっぷり入ったCDがセットになったものです。ジュンク堂書店の売り上げランキングで1位となるなど、販売部数は半年で2万部を超えました。なお、この売り上げの一部は東日本大震災の被災地への義援金としています。

また、4月には、34年間にわたるリスナーや番組ゲストとの珠玉のエピソードの数々をまとめた「おはようパーソナリティ道上洋三のいい話」が発売になりました。初版1万部はすぐに売り切れ、増刷を重ね5月中旬には2万部を突破しました。



● いつもラジオと一緒に



● 税別1,000円、朝日新聞出版

● ABCラジオカレンダー2012



昨年、創立60周年を記念して復活したABCラジオカレンダーが、今年も完成しました。今回は、リスナーの皆様から募集した人気パーソナリティの似顔絵が満載！そっくりな作品やぶっと笑える作品など楽しい力作揃いです。ジュンク堂書店（関西地区・岡山の17店舗）、楽天ブックスで販売し、好調な売れ行きを示しています。

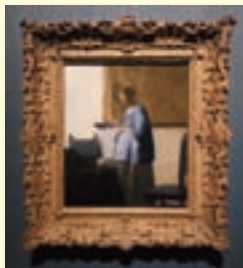


その他事業 EVENT etc.

● イベント事業

朝日放送創立60周年記念事業として、「フェルメールからのラブレター展」を6月から10月にかけて京都市美術館で開催しました。約38万人の来場者に「手紙を読む青衣の女」など17世紀オランダ絵画を堪能して頂きました。

ほかに、5月に安蘭けい主演ミュージカル「MITSUKO」を梅田芸術劇場にて上演。また和歌山マリーナシティにて、ばんばひろふみ・太田裕美ら出演の「シーサイドフォークジャンボリー」を開催しました。



8月には、西日本最大のロックフェス「サマソンニック2011」を舞洲で開催。レッド・ホット・チリ・ペッパーズや、日本を代表するX JAPAN、木村カエラ、Perfumeらの演奏に約7万5千人が酔いしれました。

また、夏休みのイベントでは「ドラえもん科学未来展」などを開催し、子供たちに大好評でした。



ABCホールでは、春休みの3月から4月にかけて水谷豊主演のTVシリーズセットを利用した「相棒展 Premium」を実施。音声ガイドで謎解きをしながらの展示イベントは、入場まで90分待ちになるほどの大盛況でした。



●シンフォニーホール —

ザ・シンフォニーホールでは、東日本大震災の影響で7公演が中止となり、出演者の一部変更や曲目変更などが多数生じましたが、4月には「ギドン・クレメル・トリオ」、5月の「バシュメット指揮モスクワ・ソロイスツ合奏団&木嶋真優」、6月の「ダニエル・ハーディング指揮マーラー・チェンバー・オーケストラ」、そして7月の「ラ・プティット・バンド」など海外を中心とした多彩な催し物を開催することができました。

著作権収入では、今年1月から発売している「上沼恵美子のおしゃべりクッキング」のテキスト本の売れ行きが好調です。4月号の26万3000部をはじめ、上半期も高水準で推移しています。

また、パチンコ台「プロポーズ大作戦」のヒットや、海外ビジネスでは「みんなの家庭の医学」、「大改造!!劇的ビフォーアフター」を中心とした海外番販も好調でした。

●コンテンツ事業 —

スマートフォン市場の急速な拡大に伴い、当社におきましても、従来の携帯有料サイト事業に加えてスマートフォンへの有料動画配信に参入いたしました。

8月に「夏の高校野球あの名勝負を再び」、「熱闘甲子園ダイジェスト」、9月には「探偵!ナイトスクープ」と、続々と有料動画配信をスタートいたしました。

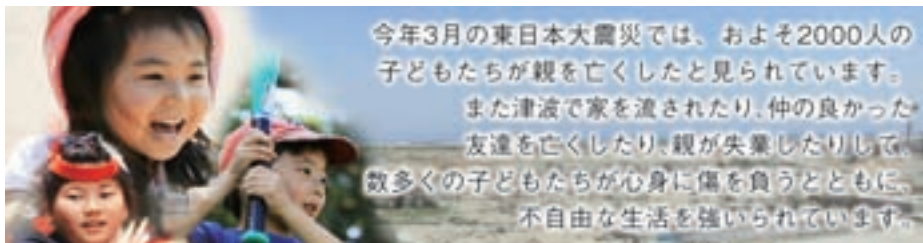
11月にはスマートフォンの月額課金サイトもオープンし、今後スマートフォンならではのデジタルコンテンツの開発を進め、従来の携帯サイトと合わせて番組と連動したサービスを展開してまいります。



DVD販売では、記憶に残る名勝負を厳選したシリーズの第三弾、「熱闘甲子園最強伝説Vol.3」を発売。2004、2005年の駒大苫小牧高校の連覇、早稲田実業・斎藤投手VS駒大苫小牧・田中投手の決勝引き分け・再試合などを収録し、昨年を上回る売れ行きで、絶賛発売中です。



東日本大震災 ABC子ども支援募金



朝日放送では、被災地の子どもたちを支援しようと、「東日本大震災ABC子ども支援募金」の呼びかけを行っています。

これまでに2500万円以上の募金が寄せられ、9月に「あしなが育英会」と「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」の2団体に、それぞれ1000万円ずつをお贈りしました。

「あしなが育英会」は、震災遺児のケア活動を行うための施設「東北レインボーハウス」を仙台市につくる計画を進めていて、募金はその建設資金に充てられます。

「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」は学用品や玩具の提供、遊び場の開設、子どもに優しい地域づくりなど、被災した子どもたちのための教育や生活への支援を幅広く行って、募金はそうした活動資金に充てられます。

「東日本大震災ABC子ども支援募金」は来年3月まで行う予定です。

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期 平成23年9月30日現在	前 期 平成23年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	29,352	28,972
固定資産	63,564	64,167
有形固定資産	43,157	44,245
無形固定資産	1,094	1,342
投資その他の資産	19,311	18,579
資産合計	92,916	93,139

科目	当中間期 平成23年9月30日現在	前 期 平成23年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	9,761	9,726
固定負債	26,534	27,138
負債合計	36,295	36,865
(純資産の部)		
株主資本	52,986	52,651
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	44,576	44,242
自己株式	△ 500	△ 500
その他の包括利益累計額	373	428
その他有価証券評価差額金	373	428
少数株主持分	3,260	3,193
純資産合計	56,620	56,273
負債純資産合計	92,916	93,139

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 平成23年4月 1 日から 平成23年9月30日まで	前中間期 平成22年4月 1 日から 平成22年9月30日まで
売上高	37,930	37,709
売上原価	25,885	25,634
売上総利益	12,045	12,074
販売費及び一般管理費	11,039	11,438
営業利益	1,005	635
営業外収益	264	228
営業外費用	100	125
経常利益	1,169	738
特別利益	—	19
特別損失	—	420
税金等調整前中間純利益	1,169	338
法人税等	514	135
少数株主損益調整前中間純利益	654	202
少数株主利益又は少数株主損失(△)	95	△ 25
中間純利益	559	228

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 平成23年4月 1 日から 平成23年9月30日まで	前中間期 平成22年4月 1 日から 平成22年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,729	2,156
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,340	△ 886
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 721	△ 1,170
現金及び現金同等物の増減額	667	99
現金及び現金同等物の期首残高	12,695	12,666
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,362	12,766

(注) 1.金額は、百万円未満を切捨表示しております。

2.当社は四半期連結財務諸表規則を採用しておりますが、本表では中間と読み替えて表示しております。

剰余金の配当に関する事項

		当 期	前 期
1株当たり 配当金	中間期末	普通配当 4.5円	普通配当 4.5円
	期 末	普通配当 4.5円(予想)	普通配当 記念配当 4.5円 1円
	年 間	9円(予想)	10円

● 会社の概況 (平成23年9月30日現在)

会 社 名 朝日放送株式会社
Asahi Broadcasting Corporation

創 立 昭和26年3月15日

資 本 金 52億9,980万円

従 業 員 数 651名

事 業 内 容 放送法によるテレビ放送事業
およびラジオ放送事業 他

本 社 〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号
Tel.(06)6458-5321 (代表)

● 役 員 (平成23年9月30日現在)

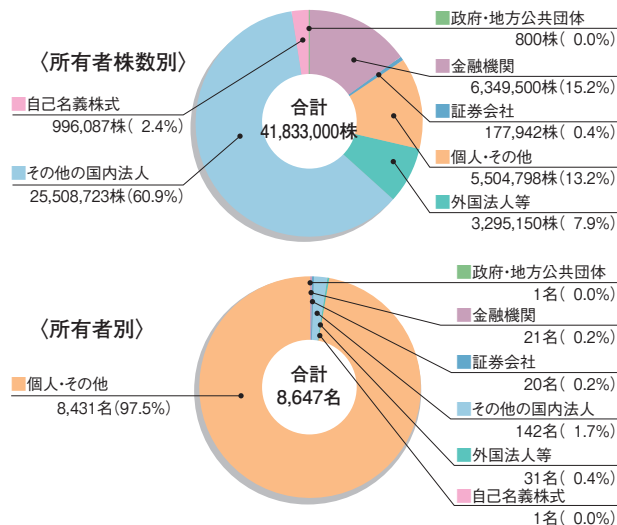
代表取締役会長	渡辺 克信	取 締 役	川村 恒雄
代表取締役社長	脇阪 聡史	取 締 役	大塚 義文
代表取締役専務取締役	和田 省一	取 締 役	沖中 進
常 務 取 締 役	田仲 拓二	取 締 役	山本 晋也
常 務 取 締 役	古川 賢三	常 勤 監 査 役	木下 栄一
取 締 役	脇 英太郎	常 勤 監 査 役	山本 良生
取 締 役	山口 昌紀	監 査 役	白賀 洋平
取 締 役	坂井 信也	監 査 役	橋本 宗利
取 締 役	早河 洋	監 査 役	野村 正朗
取 締 役	横井 正彦		
取 締 役	尾崎 裕		

● 株式の概況 (平成23年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 144,000,000株
- 発行済株式総数 41,833,000株
- 株主数 8,647名
- 大株主

株 主 名	所有株式数	議決権比率
株式会社朝日新聞社	6,224,900 株	15.2 %
株式会社テレビ朝日	3,877,600	9.5
公益財団法人香雪美術館	2,930,000	7.2
学校法人帝京大学	1,554,000	3.8
朝日新聞信用組合	1,500,000	3.7
日本生命保険相互会社	1,256,500	3.1
大阪瓦斯株式会社	1,065,000	2.6
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE NORTHERN TRUST (GUERNSEY) LIMITED - POLAR CAPITAL FUNDS PLC	1,000,000	2.4
近鉄バス株式会社	800,000	2.0
株式会社竹中工務店	776,600	1.9

● 株式分布状況 (平成23年9月30日現在)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701

東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-176-417

(ホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
(<http://asahi.co.jp>)

<http://asahi.co.jp>

当社のホームページもご覧ください。

朝日放送株式会社

〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号
TEL 06-6458-5321 (代表)

